

(1号議案) 2025年度事業計画を定める件

2025年度事業計画は [1号議案] 記載の内容とする

(2号議案) 2025年度予算計画を定める件

2025年度予算計画は [2号議案] 記載の内容とする

(3号議案) 2024年度会計報告の件

2024年度会計報告について [3号議案] 記載の内容とする

(4号議案) 役員選任の件

役員構成は下記とし、分科会責任者は各分科会により選任された会員があたるものとする

1. 代表 1名 山崎 裕史 (再任)
2. 副代表 2名 大橋 智子 (新任)
君塚 和香 (新任)
3. 事務局長 1名 樋山 裕己 (非改選)
4. 会計 2名 松澤 茂 (非改選)
多羅尾 直子 (新任)
5. 監査 2名 新崎 光正 (再任)
前野 武彦 (新任)
6. 分科会の責任者
 - ・他団体との連携分科会責任者 高橋 千里 (再任)
 - ・まち歩き分科会責任者 原田 英利 (再任)
 - ・広報分科会責任者 村山 一美 (新任)
 - ・スキルアップ講習分科会責任者 益田 あけみ (新任)
 - ・A地域分科会責任者 濱田 直子 (再任)
 - ・B地域分科会責任者 山崎 裕之 (新任)
 - ・C地域分科会責任者 金子 有太 (非改選)
 - ・D地域分科会責任者 柴田 直政 (新任)
 - ・E地域分科会責任者 野副 晋平 (新任)

注) 再任とは、期を超えて継続して役員となるもの、非改選とは、期(2年)途中のもの

会の目的（会則第2条）

この会の目的は、東京ヘリテージマネージャーの資質向上を図ると共に、その職能を確立することにより、歴史的建造物を始めとする東京の文化的資産の価値を広く社会と共有し、発見することで、その保全、活用に寄与することにあります。

2025年度 東京ヘリテージマネージャーの会 事業計画

1 現状・課題

当会は2018年3月にヘリテージマネージャー養成講座を修了した有志一同により、同年9月に設立して以降、2019年5月には同講座2期生、2021年2月には同講座3期生、2023年9月には同講座4期生を会員に迎え、各会員が会のあるべき方向性を模索しつつ、積極的に活動を実施してきた。

昨年度の目標とそれに対する主な活動実績は以下の通りである。（活動実績の詳細は別紙のとおり）

① 法人化検討。

法人化検討WGでは、2024年の総会での一般社団法人を想定した検討継続の決議を踏まえて、より具体的に法人化後の組織イメージや定款案の作成など一年を通じて行ってきた。1月には役員会向けに中間報告会を行い、問題点などの意見収集をした。

② 会員が参加できる企画の実施。

スキルアップ分科会では、実測調査の伴う実習形式の演習と講習会を開催した。まち歩き分科会では、各地域班と連携したまち歩き企画を実施し、会員相互の交流を高めた。地域班では、C班の個人邸をお借りしての所見と野帳作成、E班の桑ハウス一般開放ガイド及び講師による講習会開催など活発な活動が行われた。継続して取り組んでいる近現代調査研究WGでは、各地域班にて建築物リストを共有し、調査事業を意識した模擬調査体験を行った。

③ 会員数の増加。

広報分科会では、パンフレットの改訂版を作成し、東京建築士会のヘリテージマネージ

ャー養成講座（5期）にて配付し、新規会員の獲得に努めた。

④ 対外的な認知度の向上。

他団体連携分科会では、関東甲信越エリアのヘリテージマネージャー会議を主催し、災害時における他県との連携について検討を開始した。また、震災100年WGでは、一般の方も対象としたシンポジウムを開催し、ヘリテージマネージャーの対外的なアピールの場ともなった。

このような昨年度の実績を踏まえ、今年度会として取り組むべき主要な課題を挙げる。

① 会の機能拡充について

1. 今後の活動に会として適切に対応するため、会の法人化検討を引き続き行い、今後の会のあり方について結論を得る必要がある。

2. 近現代建築緊急重点調査事業への勉強会を、各地域班にて行った。他県との連携及び、歴史的建造物所有者からの相談対応等の体制の構築を、引き続き行う必要がある。

② 会員が参加できる企画について

一昨年度から対面で実施できる環境が戻ってきたことから、WEB会議に加えて対面での実地開催など、多様な開催方式による分科会や地域班での定例会、イベントの開催が可能になり、会の活動を活性化する事が出来た。ただし一部の会員のみ参加に限定されている現状がある。そこで年1～2回程度のニュースレターを発行し、会員の活動報告を実施し、活動意欲と満足度を向上させる。

③ 対外的な認知度について

行政等関係機関や歴史的建造物の所有者等との信頼関係を構築する上で、さらなる認知度の向上が必要である。それにより、様々な方々からの相談を受けやすく、支援しやすい環境や組織体制を構築する必要がある。日野の桑ハウスの見学会の案内、東京建築祭への参加（歴史的建造物ツアー企画と実施・建物コンシェルジュ派遣）等で、会の活動を対外的にアピールするとともに、昨年度改訂した会のパンフレットと、会の名刺を作成し、先述のニュースレターと共に、効果的に配布し、認知度の向上を目指す。

2 活動の基本方針

以上の課題に対し各分科会・地域班・WGの活動を中心として取り組むことにより、会員

個々のヘリテージマネージャーとしての活動を効果的に支援する体制を構築することを、今年度の活動の基本方針とする。

3 事業目標

① 分科会、WGの活動支援

② 法人化検討の継続

法人化に向けた検討の結果をより具体的な内容として会員に示し、組織イメージの共有化を図るとともに、必要に応じて分科会設置の次年度以降の総会決議を行う。

③ 会員が参加できる企画の実施

会員個々が参加し交流できる企画、勉強会を計画する。分科会・WG・地域班での活動を積極的に行う。

④ 対外的な認知度の向上

会の対外的認知度を上げるための活動を行い、広報活動に展開し、分科会・WG・地域班が行う活動を支援する。

4 事業計画

(1) 全体

事業目標を達成できるよう、各分科会や会員の活動を積極的に支援するとともに、関連する行政機関、東京建築士会（まちづくり委員会ヘリテージ部会）、ヘリテージマネージャーネットワーク協議会、他県ヘリテージマネージャー組織との連携を図る。

(2) 各分科会

分科会名	活動内容	細部（実施時期）
他団体との連携	・全国のヘリテージマネージャー組織及び市民活動団体、関係行政機関、研究者、文化財専門家等とのネットワークの形成	・第13回全国HMN総会（大阪） ・関東甲信越ブロック会議（神奈川県） ・災害時の他団体連携好事例についてWEBレクチャー企画 ・当会の情報を他地域へ発信

		<ul style="list-style-type: none"> ・全国の情報を当会会員に案内 ・関係団体名簿管理・共有
まち歩き	<ul style="list-style-type: none"> ・「まち歩き」企画実施 ・まち歩きマニュアルの作成 (2024年⇒2025年に延期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回(5,11月)開催予定、地域班との連携で、精度を向上させる。
データベース	分科会としての活動は、一時休止とするが、地域班・近現代WGなどの活動を通じてDBの整備方法を模索する。	
広報	<ul style="list-style-type: none"> ・活動、イベント等の情報発信 ・ホームページの運営 ・メーリングリスト管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・カレンダー管理 ・R6年版リーフの管理配布 ・ニュースレターの作成・印刷 ・名刺の発行業務支援 ・SNSの発信強化 ・会員の追加変更に応じてメーリングリスト登録アドレスの修正・随時受信状況の確認
スキルアップ講習	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップ講習を3回開催し、内1回以上、連合会基準に適合した講習会とする。 ・CPDの取得を引き続き、出来るようにする。 	<p>講習会は6, 10, 2月の開催を計画する。その際、以下の二つに分けて企画を立て開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連合会のテキストに沿った講習 ・会員が興味を持ち、楽しく参加できるテーマの講習
各地域班	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における活動、イベントの企画 ・所有者や行政機関とのネットワークの形成や相談の対応 ・歴史的建造物のリスト化 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB、対面での定例会の開催 ・まち歩き、見学会、勉強会の開催 ・行政機関への訪問を行う。 ・近現代リスト確認と外観調査

		・地域マップ作り(DBとの連携) 等
--	--	--------------------

(3) ワーキンググループ等

分科会名	活動内容	細部(実施時期)
近現代調査研究WG	<ul style="list-style-type: none"> ・先行県との情報交換 ・文献資料研究 ・講演会の開催 ・THM他グループとの連携 ・調査演習最終報告書作成と研究成果アーカイブ構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京調査前の情報収集 ・岡山、香川の報告書・文献調査 ・本調査の為の意識の維持向上 ・地域班、まち歩き分科会、スキルアップ分科会、データベース分科会、震災100年WG、サーバー運用WG ・調査演習最終報告会の開催 ・文化庁の本調査にむけての提言、建造物リストのアップデート、地域班等からの新たな建築物の追加掲載
サーバー運用検証WG	<ul style="list-style-type: none"> ・会におけるサーバー運用の検証を継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーを用いてファイルストレージを継続して構築し、ファイルの共有、実調査での活用を通して、検証、改善する。 ・2025年9月中間報告 ・2026年3月検証結果報告
震災100年WG	<p>2024年度に実施したシンポジウムを核とした、WGの活動記録を作成し、今後のHM活動を考える資料を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回/2か月に定例会実施 ・報告書の作成と関係先(パネリスト及び後援頂いた団体)への送付
法人化検討WG	<p>行政等関係機関や歴史的建造物所有者からの相談対応等の態勢の構築のために必要な会のあり方検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年度の検討を踏まえ、2025年度は組織作りに向けた具体的な検討を行う。 ・2026年1月検討結果報告

(4) 事務局等

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会全般の企画・運営に関すること ・役員会（隔月）、総会&懇親会（5月）の実施 (総会はメール及び対面にて実施) (役員会はWEB会議にて実施) ・会員への情報共有・広報への情報提供 ・WG立ち上げ支援・ZOOM会議のセッティング
会計	<ul style="list-style-type: none"> ・会全般の会計に関すること ・出入金の管理 ・口座の管理 ・名簿の管理
監査	<ul style="list-style-type: none"> ・会全般の監査に関すること ・予算執行監査（2025年4月）

(5) 年間行事・イベントスケジュール（基準）

	行事・イベント	担当	役員会
4月	関東甲信越ブロックHM会議	他団体連携分科会	○
5月	東京建築祭ツアー企画・実施	事務局	○
	東京建築祭コンシェルジュ派遣	事務局	
	まち歩き in 大田区	まち歩き分科会	
6月	総会・懇親会	代表・事務局	
	スキルアップ講習	スキルアップ講習分科会	
7月			
8月			○
9月	第13回全国HMネットワーク総会	他団体連携分科会	
	近現代調査 演習調査報告まとめ	各地域班	
10月	スキルアップ講習	スキルアップ講習分科会	○
11月	まち歩き in 区	まち歩き分科会	

12月	近現代調査演習 最終報告会	近現代調査研究 WG	○
1月	法人化検討結果報告会	法人化 WG	
2月	スキルアップ講習	スキルアップ講習分科会	○
3月	かわら版発行	広報分科会	○

2024 年度活動実績

1 全般

年度総会をはじめ、対面による活動や、各地域班と連携したまち歩きや、班独自のスキルアップ講習や、登録文化財見学会説明、WEB 勉強会、独自のまち歩き等、開催する事が出来た。

また WG による法人化の検討や、近現代調査なども実施する事が出来、会の活動が活発化した。

2 分科会等

(1) 役員会 全 6 回開催 4/3・7/22・9/30・11/25・2/3・3/3

(2) 総会

日時：6 月 2 日（日） 13:30～17:00

会場：新宿歴史博物館 2F 講堂

基調講演：長谷川順一氏（たてもの修復支援ネットワーク代表）

～能登半島地震から半年～災害大国を生き抜くために、繕うという日本の技を今こそ

終了後：懇親会

(3) 他団体との連携分科会

■ヘリテージマネージャーの全国組織との連携

・第 2 回ヘリテージマネージャー関東甲信越ブロック会議を開催（東京主催）

開催日：2024 年 7 月 18 日（木）

開催場所：東京都中央区会議室

参加者：8 都県、計 22 名（会場参加 17 名、zoom 参加 5 名、*印は zoom）

茨城県 武村実、梶ひろみ

群馬県 城田幸子

埼玉県 江森輝雄、大橋純*

千葉県 笠西桂一、松本亜古

東京都 山崎裕史、金山真人、大橋智子、多羅尾直子、前野武彦、高橋千里、
青木伊知郎（東京建築士会）

神奈川県 内田美知留、笠井三義、黒田協子、戸田啓太

新潟県 瀬戸智*、長谷川順一*

長野県 寺澤雄治*、吉川貴久*

- ・第12回全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会への参加

開催日：2024年10月24日（木）

開催場所：鹿児島県鹿児島市「鹿児島市中央公民館」

参加者：山崎裕史、大橋智子、金山真人、多羅尾直子、前野武彦、鹿志村弥生、
斎藤小百合、高橋千里、樋山裕己

- ・分科会にて今後の活動計画、関東ブロック内での連携について議論（4月、5月、3月）
- ・全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会から不定期に提供される情報を当会会員へ案内。

（4）まち歩き分科会

■まち歩きの企画・実施

豊島区『学園キャンパス巡り』まち歩き(5月18日)

- ・THMの会向け募集、9名+A地域班2名+分科会メンバー3名、14名参加。
- ・A班メンバー&分科会メンバーで準備を行い、新たな文化財建造物候補を見つけた。
- ・立教大池袋キャンパスの学芸員さんに事前にコンタクトをとり、歴史解説をしていただいた。
- ・学習院大学より、目白キャンパスの建物解説本を頂き、参加者全員に提供した。

文京区まち歩き(11月16日)

- ・THMの会向け募集、12名+B地域班2名+分科会メンバー2名、16名参加。
- ・B班メンバー&分科会メンバーで準備を行い、午後からスタートのスケジュールを組み立てた。
- ・東京カテドラル教会に事前コンタクトをとり、建物解説をして頂いた。

(5) データベース分科会

■分科会定例会

- ・基本的にオンライン形式で実施。

■DB 入力システムの検討と試行

- ・THM 共有サーバーWG と連携し、サーバーの「ファイルストレージ」の入力項目について、学会 DB との統一を協議・検討した。

■THM 他グループとの連携

まち歩き活動に際し、学会 DB の(テキスト+地図)情報、DB 入力フォーマットを提供

- ・豊島区まち歩き、文京区まち歩き（まち歩き分科会主催）

(6) 広報分科会

フェイスブック・ホームページの運営、メーリングリスト管理

既存パンフレットの改定、名刺雛型のデータ作成

(7) スキルアップ講習分科会

■定例会を 12 回実施

- ・分科会メンバーはこれまでの 6 名と 2023 年 12 月以降は 4 期生が徐々に参加。

2 月までに 4 期生 4 名を加えて、12 回会議を開催。通常は ZOOM を利用し、12 月のみ忘年会を兼ねて対面式で行った。

■対面式の講習会を 2 回開催、オンライン講習会を 1 回開催した。

- ・第 1 回スキルアップ講習会 2024 年 6 月 8 日

「数江家住宅」保存活用を行うための実測調査と維持管理の提案講習会 1

講師：伊郷吉信先生 会場：大田区数江家住宅

- ・第 2 回 スキルアップ講習会と見学 2023 年 10 月 6 日

「数江家住宅」保存活用を行うための実測調査と維持管理の提案講習会 2

講師：伊郷吉信先生 会場：大田区数江家住宅

- ・第 3 回 スキルアップオンライン講習会 2024 年 3 月 1 日

「歴史的建物の保存実務担当者による調査・設計手法解説～蔵春閣を題材に～」

講師：大成建設(株) 設計本部先端デザイン部 伝統・保存設計室 中谷扶美子氏

(7) A地域会分科会

オンライン定例会を開催。豊島区まち歩きをまち歩き分科会と一緒に開催

(8) B地域会分科会

オンライン定例会を開催。

B班メンバーがまち歩き分科会による「文京区まち歩き」に協力

近現代データベースWG 調査演習実施の為、後半月1回ペースで定例開催

・定例開催 8/1 9/24 11/5 12/10 1/7 (2/10) 3/17

(9) C地域会分科会

5/27 C班班長とトラまち事前相談（個人邸の文化財意見具申用調査等について）

6/25, 27、8/10、9/12上記具体化の調整 10/20上記参加者をメーリスにて全体募集

12月4回と2月1回の計5回、参加者により文化財意見具申用調査等実施

6/14, 15、7/7、8/2, 6, 14, 17、9/12, 26、10/1, 18、11/24、12/19

など近現代リストの配布、説明、調査実施、シート作成。

(10) D地域会分科会

■各地域における活動、イベントの企画

会員相互の交流を図る定例会議、懇親会、勉強会、まちあるきを開催した。

定例会議 1/16、3/7、5/13、8/21、11/11、1/27

懇親会 1/16、4/20、5/13、8/21、11/11、12/1、1/27

まちあるき 4/20 中央区、築地、明石町エリア

12/1 12/1東日本橋エリア

■所有者や行政機関とのネットワークの形成や相談の対応

- ・3/2 千代田区 地域振興部文化振興課文化財係へ千代田区一番町住宅調査報告書の
修正版提出。

- ・千代田区一番町職員住宅調査の調査報告書を千代田区 地域振興部文化振興課文化財

係と共にまとめ中。（継続中）

■歴史的建造物のリスト化地域マップ作り(DBとの連携)

- ・地域マップ作りとしてD班ホームページに入力を継続して行っている。

(11) E地域会分科会

■班定例会（オンライン）隔月4回開催

- ・近況報告、役員会・分科会情報共有・報告、近現代調査進捗確認・情報共有・報告、班イベントについて等

（第31回7/2、第32回10/2、第33回12/17、第34回3/24）

■開催イベント

- ・5/11 スタンプラリーin日野宿2024 蚕糸試験場日野第一蚕室（桑ハウス）公開説明ガイド協力（THM有志参加）
- ・10/31 「蚕糸業近代化遺産に関する勉強会」（講師：田中和夫氏）
- ・2/24 新年懇親会・見学会：桜梅桃李（旧香山園）・武相荘（旧白洲邸）

■近現代調査

- ・8/6 班内部調査説明・意見交換
- ・6チームに分かれ、机上調査（全数終了）、現地調査（3件実施）を実施

■その他

- ・メンバー一覧表・マップ更新、サーバー活用

3 その他WG等

THMの会「東京における近現代建造物緊急重点調査」研究会（近現代調査研究WG）

■近現代調査演習の地域班への協力依頼と支援

■近現代調査演習中間報告会の開催 2/10

■東京建築祭2024 ガイドツアー協力 5/26

■全国HMNW協議会 地域資産チェックシート分科会出席

建物所有者・管理者にも記入していただける調査シートの検討

7/29、8/26、11/14、12/23、1/27、3/3

■WG 定例会 5 回開催 (4/8、10/22、11/29、1/8、2/19)

(2) サーバー運用検証 WG

入力項目について、学会 DB との統一を図るべく、データベース分科会と協議・検討した。

(3) 関東大震災 100 年WG (2023 年 3 月より活動開始)

■定例会

2025 3/13(web)、3/25(web) 実施

■勉強会

2024 年度

2025 年 3/30 早稲田奉仕園スコットホール

「災害多発時代に、改めて関東大震災の帝都復興事業から学び、考える」シンポジウム
開催

+WG 活動報告 (北原糸子先生、田中傑先生、栢木まどか先生登壇)

(4) 法人化検討 WG

■定例会

6/17、7/22、8/19、9/9、10/21、11/18、12/16 1/20 中間報告 2/17、3/24

上記日程にてメンバーが集まり法人化へ向けての要検討事項抽出、情報収集、分析を行い THM としての最適解について協議し、

定款を見直す作業を行い、中間報告会を実施した。

2025年度 東京ヘリテージマネージャーの会 予算計画

収 入			
項目			金額
1	会費	正会員	475,000 円
		準会員	3,000 円
	小計		478,000 円
2	前年度繰越金		1,075,085 円
	小計		1,075,085 円
収入合計			1,553,085 円
支 出			
項目			金額
A	役員会	・役員会会議費 (WEB)	23,375 円
	事務局	・事務局経費	60,000 円
		・メーリングリスト管理費	15,000 円
	小計 (A)		98,375 円
B	分科会活動費	・分科会活動費	150,000 円
		各分科会15,000円を上限に、会場費、資料コピー代、勉強会講師への謝礼、見学先への手土産代などに使用できるものとする。	
		・分科会会場費 (WEB)	70,125 円
	スキルアップ講習	・サーバークラウド契約費	13,200 円
		・開催支援 (謝金、会場費等)	150,000 円
	他団体との連携	・CPD取得手数料	9,000 円
・会議費・交通費		25,000 円	
小計 (B)		417,325 円	
C	近現代調査研究WG	・調査演習最終報告会開催費	75,000 円
	震災100年WG	・報告書作成費、会議費	32,000 円
	サーバー運用WG	(サーバークラウド契約費は分科会活動費に含む)	— 円
	法人化検討WG	・会議費等	15,000 円
	小計 (C)		122,000 円
D	ホームページ	・管理費	15,000 円
		・ドメイン・プロバイダー費	10,000 円
	小計 (D)		25,000 円
E	ニュースレター作成費	デザイン、原稿作成、印刷経費	60,000 円
F	大会出張費		60,000 円
G	交際費		10,000 円
H	雑費	・振込手数料等	15,000 円
I	特別活動費	総会経費 (謝金、会場費等)	80,000 円
J	予備費		165,385 円
支出合計 (A~J)			1,053,085 円
収 支			500,000 円

監査報告書

2024年度該当期間に関して、本監査報告書を作成し、以下の通り報告する。

<監査の結果>

1 名簿管理の監査結果

会員情報の取り扱いについて、管理方法の聴取及び保管場所を確認した結果、正しく運用されていることを認めます。

令和6年5月3日

2 決算報告書の監査結果

決算報告書の監査に必要な関係書類を照合の結果、該当期間の決算報告書は正確であることを認めます。

令和6年5月8日 監査

新崎光正

須藤美輝

2024年度 決算報告書

収入の部

(単位：円)

	科 目	予 算 金 額	決 算 金 額	比較増減
	前年度繰越金	1,093,038	1,093,038	0
	会 費			
	正会員費	5,000 × 93 465,000	5,000 × 89 445,000	未納者13 退会者 2
	準会員費	3,000 × 0 0	3,000 × 1 3,000	
	新規会員	5,000 × 0 0	5,000 × 0 0	
	賛助会員費	10,000 × 0 0	10,000 × 0 0	
	計	465,000	448,000	-17,000
①	寄 付 金	0	0	0
②	雑 収 入	0	272,541	272,541
	当期収入合計	465,000	720,541	255,541
	収入合計	1,558,038	1,813,579	255,541

支出の部

	科 目	予 算 金 額	決 算 金 額	比較増減
A	役 員 会	役員会会議費 (WEB) 21,250	23,375	
	事 務 局	事務局経費 60,000	40,000	
		計 81,250	計 63,375	-17,875
B	分科会活動費	分科会会場費 120,000	8,688	-111,312
		分科会会場費 (WEB) 85,000	70,125	-14,875
		分科会資料費 30,000	0	-30,000
		サーバーライセンス契約費 13,200	13,200	0
	スキルアップ講習	開催支援 (謝金、会場費等) 150,000	233,948	83,948
	他団体との連携	会議費・交通費 25,000	0	-25,000
	計	423,200	計 325,961	-97,239
C	震災100年WG	180,000	172,022	-7,978
	近現代調査研究WG	90,000	0	-90,000
	サーバー運用WG	-	0	
	法人化検討WG	30,000	13,500	-16,500
		計	300,000	185,522
D	ホームページ	管理費 30,000	20,000	-10,000
		プロバイダー費 9,000	9,196	196
		計	39,000	29,196
E	パンフレット作成費	20,000	15,700	-4,300
F	大会出張費	60,000	60,000	0
G	交 際 費	10,000	0	-10,000
H	雑 費	5,000	14,740	9,740
I	特別活動費	100,000	44,000	-56,000
J	予 備 費	119,588	0	-119,588
	当期支出合計	1,158,038	738,494	-419,544
	次年度繰越金	0	1,075,085	-1,075,085
	支出合計	1,158,038	1,813,579	-655,541

2024年度 収入内訳表

会 費				備考
正会員	1 期	5,000	27 名 = 135,000	2名休会、3名未納
	2 期	5,000	26 名 = 130,000	2名休会、9名未納
	3 期	5,000	22 名 = 110,000	1名未納
	4 期	5,000	14 名 = 70,000	
準会員		3,000	1 名 = 3,000	
賛助会員		10,000	0 = 0	
			計 448,000	

① 寄付金	備考
1	
2	
3	
計	0

② 雑収入	備考1	備考2
1 利息	15	20240724
2 利息	65	20240819
3 利息	369	20250217
4 利息	151	20250217
5 第1回スキルアップ	66,295	20240611 peatix
6 第2回スキルアップ	22,674	20241010 peatix
7 第3回スキルアップ	62,107	20250304 peatix
8 震災100年	16,733	20250403 peatix
9 銀行振込手数料	-880	20240610/20250326
10 謝金返金	21,670	20240724 長谷川講師交通費返金分
11 支出口座より戻し金	83,342	
計	272,541	

2023年度残金 20240410 1,093,038

2024年度残金 20250503 970,010

備 考

2024年度 支出内訳表

A	事務局経費		備考
1	事務局経費	0	樋山氏
2	ZOOM経費	23,375	姉崎氏
3	事務局経費	20,000	松澤氏
4	事務局経費	20,000	北野氏
計		63,375	

B	分科会活動費		備考
	・分科会会場費		
	D班、会議室使用料	8,688	西島氏
	・分科会会場費 (WEB)		
	D班ZOOM使用料	23,375	西島氏
	DB分科会・B班・近現代WG ZOOM使用料	23,375	森氏
	E班・震災100年ZOOM使用料	23,375	鹿志村氏
	・分科会資料費		
	・サーバライセンス契約費		
	サーバ使用料	13,200	西島氏
	スキルアップ講座開催費		
1	第1回講師謝金	48,000	伊郷講師
2	第2回講師謝金	39,000	伊郷講師
3	第1回スタッフ謝金+用紙代	11,251	大橋氏窓口
4	第2回スタッフ謝金	1,997	大橋氏窓口
5	第1回会場費	55,000	数江邸
6	第2回会場費	55,000	数江邸
7	第3回講師謝金	15,000	大成建設 (中谷氏)
8	第3回スタッフ謝金	8,000	大橋氏窓口
9	第3回会場費	700	四谷地域センター
	他団体との連携	0	
計		325,961	

D	ホームページ		備考
1	ホームページ管理費	20,000	斎藤氏
2	サーバーレンタル費	5,016	斎藤氏
3	ドメイン更新費	4,180	斎藤氏
計		29,196	

E	パンフレット作製費		備考
1	作業費	5,500	村山氏
2	印刷代	9,780	村山氏
3	送料	420	村山氏
計		15,700	

F	大会出張費		備考
1		30,000	山崎氏
2		30,000	高橋氏
計		60,000	

G	交際費		備考
1			
計		0	

H	雑費		備考
1	銀行払込手数料	14,520	
2	山崎氏銀行振込手数料	220	総会会場費
計		14,740	

I	特別活動費		備考
1	総会基調総会講師謝金	37,000	長谷川講師
2	総会会場費	7,000	山崎氏
計		44,000	

J	予備費		備考
1			
計		0	

C	分科会活動費		備考
	THM震災100年WG勉強会		
1	講師謝金	34,000	田中講師
2	講師謝金	21,000	柏木講師
3	会場費	73,700	金山氏
4	モデレーター謝金	7,500	金山氏
5	資料コピー代	16,400	金山氏
6	スタッフ謝金	12,000	金山、南木、久保島、鹿志村、保坂、松尾
7	経費	3,500	金山氏
8	雑費	3,922	金山氏
9	サーバ運用検討WG	0	
10	法人化WG会議室使用料	13,500	村山氏
計		185,522	